

東北女子サッカーリーグ 八学大 初代王座

市長に報告

次は全国大会「結果残す」

八戸



小林市長(左端)に大会優勝を報告する八戸学院大女子サッカー部の選手ら

八戸市の八戸学院大女子サッカー部が、今年初めて開かれた東北女子サッカーリーグ(4月30日～10月28日、東北サッカー協会主催)で、初代王座に輝いた。20日、同部の畑中孝太監督と選手4人が市庁を訪れ、小林眞市長に優勝の喜びや、12月23日から兵庫県で開催される全国大会への抱負を語った。
(大久保拓地)

◆ 東北女子サッカーリーグでは、12チームが北と南の2リーグに分かれ総当たり戦を行った。八学大は圧倒的な得点力で5チームに全勝し、北リーグ1位となった。

南リーグ1位との決勝戦は、10月の地域大学リーグで敗れた仙台大と対戦。後半に先制されたが、試合終了間際に同点に追いつくと、PK戦を5-4で制した。

FW山下季里さん(4年)は「仙台大からの勝利で(チームの)歴史を変えられた」、MF笠井美里さん(3年)は「全国大会では応援してくれる人のため結果を残したい」とそれぞれの思いを語った。小林市長は「全国でまずは1勝できるよう頑張ってほしい」と期待を込めた。